

第1回

沼津市新中間処理施設整備スケジュール等検討会

日時：平成29年6月12日（月）

場所：沼津市民文化センター

第四会議室

次第4 沼津市新中間処理施設整備事業の説明

- 沼津市新中間処理施設整備事業の概要
- 沼津市新中間処理施設整備基本計画について
- 沼津市新中間処理施設整備スケジュール等検討会について

沼津市新中間処理施設整備事業の概要

- ・循環型社会形成推進に係る社会的要請
- ・将来にわたる安定的かつ効率的なごみ処理体制の維持
- ・ごみ処理に伴う環境負荷のさらなる低減



老朽化した現清掃プラントの建替えや分散化したりサイクル施設の一体化を図るとともに、**最新の技術動向を備えた安定的で環境負荷の少ない循環型社会の形成に資する新施設の整備を行うもの**

沼津市新中間処理施設整備事業の目的

<耐震性の確保>

- ・建物等が耐震性に劣る(ランクⅢ)
- ・建物・設備の老朽化が進行(築41年)



早急な対策が必要

<循環型社会の実現>

焼却熱を利用した発電等、資源・エネルギーの有効活用

<安全・安心>

新たな技術による環境負荷の低減や、災害時の備え

沼津市新中間処理施設整備事業の経緯

平成26年3月

沼津市新中間処理施設整備基本構想の策定

- ・・・新施設整備に向けた基本的な考え方や方針を決定

平成27年7月

沼津市新中間処理施設整備基本計画の策定

- ・・・基本構想で検討した内容を精査し、各設備の基本処理システム、公害防止計画、施設配置計画等の基本的事項を定めた

平成27年11月

整備スケジュールの順延を決定

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

- 第1章 施設整備に関する基本方針
- 第2章 ごみ処理方式等の整理
- 第3章 処理システムの検討
- 第4章 敷地造成、施設配置及び動線計画
- 第5章 公害防止計画
- 第6章 余熱利用計画
- 第7章 事業手法の検討
- 第8章 事業計画

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

第1章 施設整備に関する基本方針

- ① 地球に優しい施設
- ② 安定・安全性に優れた施設
- ③ 資源や熱エネルギー等を効率よく利活用できる施設
- ④ 維持管理が容易で経済性に優れた施設
- ⑤ 市民に開かれた施設
- ⑥ 周辺環境と調和した施設

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

第2章 ごみ処理方式等の整理

可燃ごみ処理方式・・・ストーカ式焼却炉

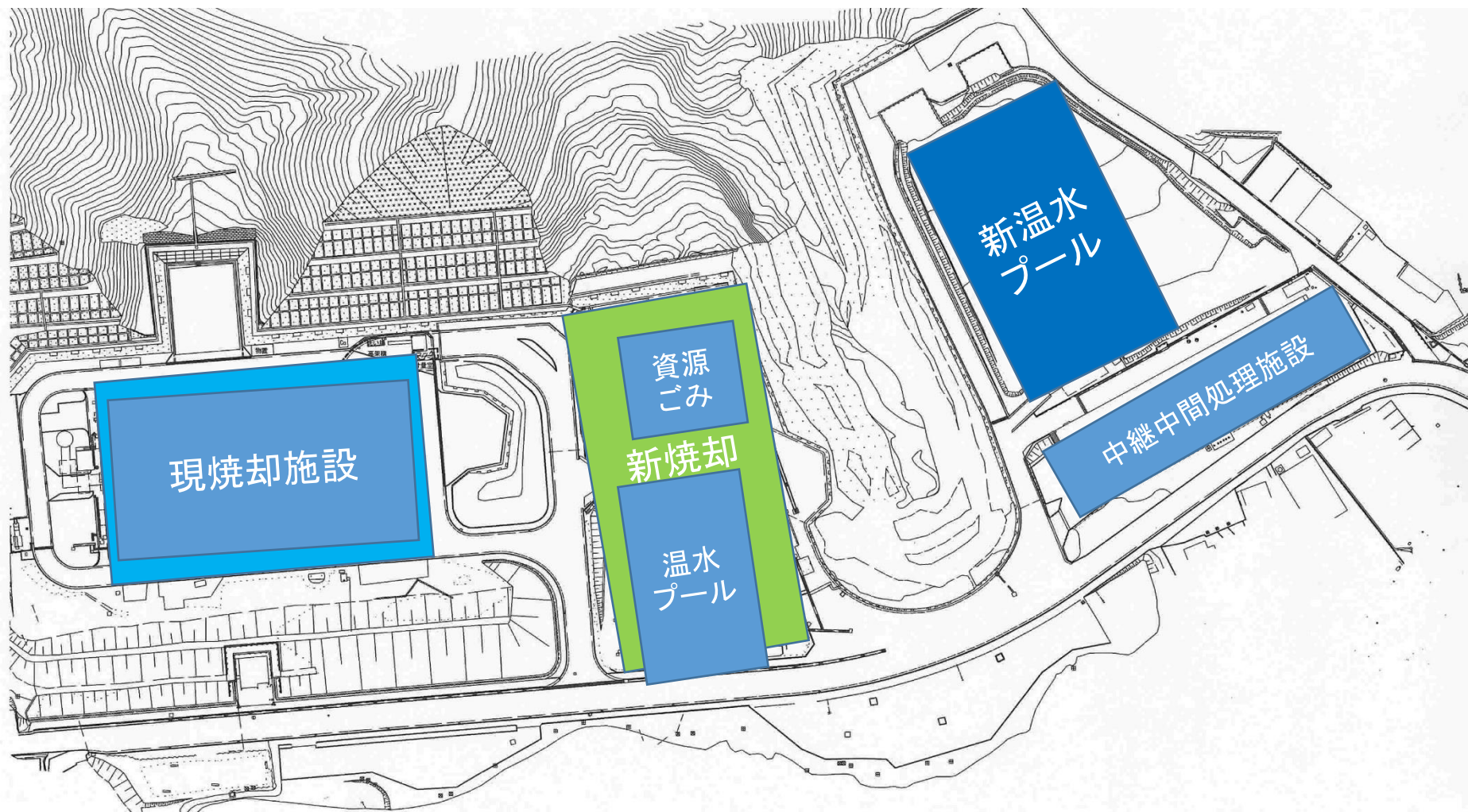
焼却施設の必要規模・・・**210t/日**（105t/日 2炉）

リサイクル施設の必要規模

・・・**全体で41t/日**

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

第4章 敷地造成、施設配置及び動線計画



第6章 余熱利用計画

余熱利用方法

- ①蒸気 ……施設内熱利用機器での利用
- ②発電利用 ……積極的に発電し、売電する
- ③場内給湯利用 ……積極的に利用する
- ④場外余熱利用 ……新屋内温水プールへ温水により熱供給

第7章 事業手法の検討

焼却施設は、PFI的手法で事業化することを基本とする。

定性的には・・・

- ・性能発注による民間事業者のノウハウの活用が期待
- ・一括発注による民間事業者のノウハウの活用が期待
- ・長期契約による財政負担の確約・リスク移転を期待

定量的には・・・

- ・事業費はトータル的に低く、経済的な効果が見込まれる

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

課題(1)

ただし、

DBOかBTOかは、発注までに決定していくこととする



- 正確な事業費の算定ができない
- 市の支出計画が決まらない
- VFMが算出できない

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

第8章 事業計画

概算建設費(参考)

プラントメーカーから提出された概算建設費(税抜き)

区分	規模	建設費
ごみ焼却施設	約210t/日	約170億円
リサイクル施設	約41t/日	約40億円
合計		約210億円

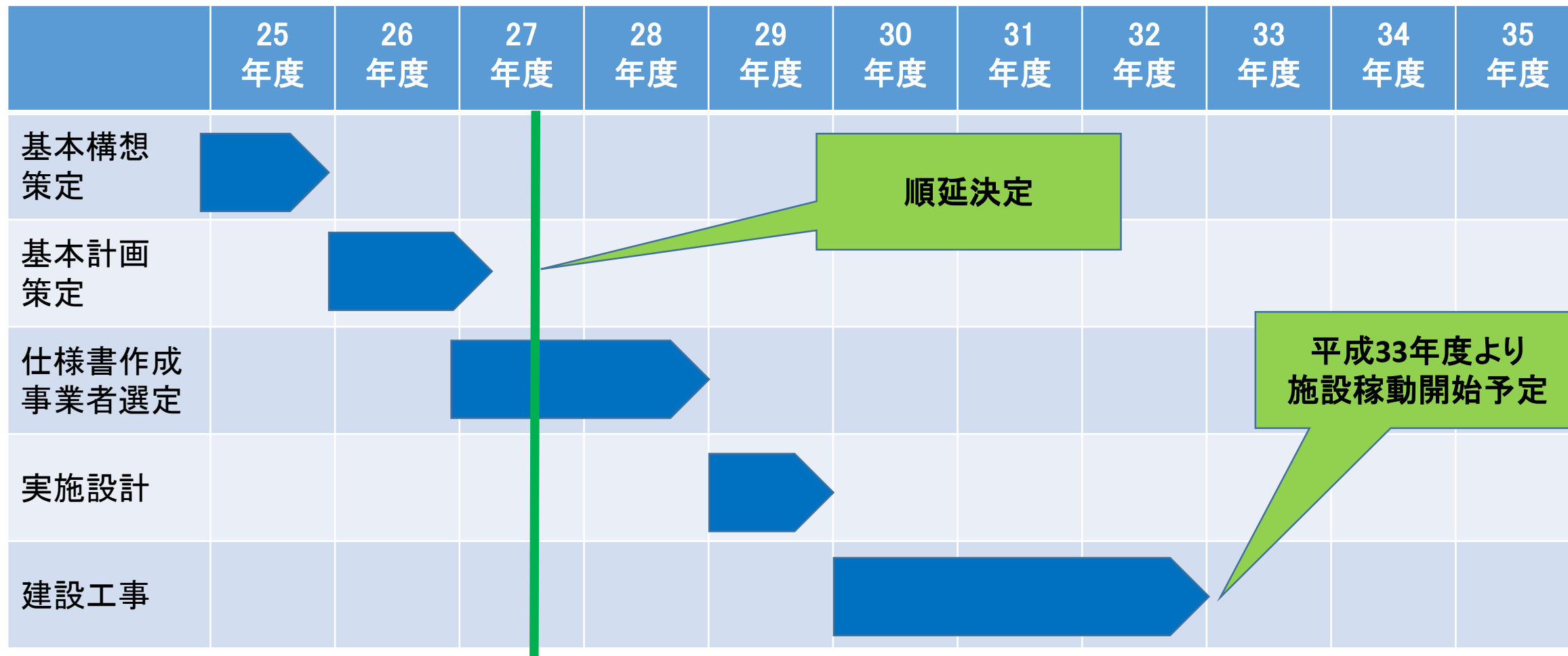
概算維持管理費(参考)

プラントメーカーから提出された概算維持管理費(税抜き)

区分	維持管理費 年間補修費	売電収益	合計
ごみ焼却施設	約5.3億円	約0.8億円	約4.5億円
リサイクル施設	約1.9億円		約1.9億円
合計	約7.2億円	約0.8億円	約6.4億円

沼津市新中間処理施設整備基本計画について

当初事業スケジュール



沼津市新中間処理施設整備基本計画について

課題(2)

順延後の整備スケジュールが未定



現焼却場は耐震性能が不足し、整備は喫緊の課題
現焼却場は築41年と老朽化が進み、災害リスクが増す
財政見通しも定まらず、各種計画の進捗に影響が出る

沼津市新中間処理施設整備スケジュール等検討会について

検討会の目的

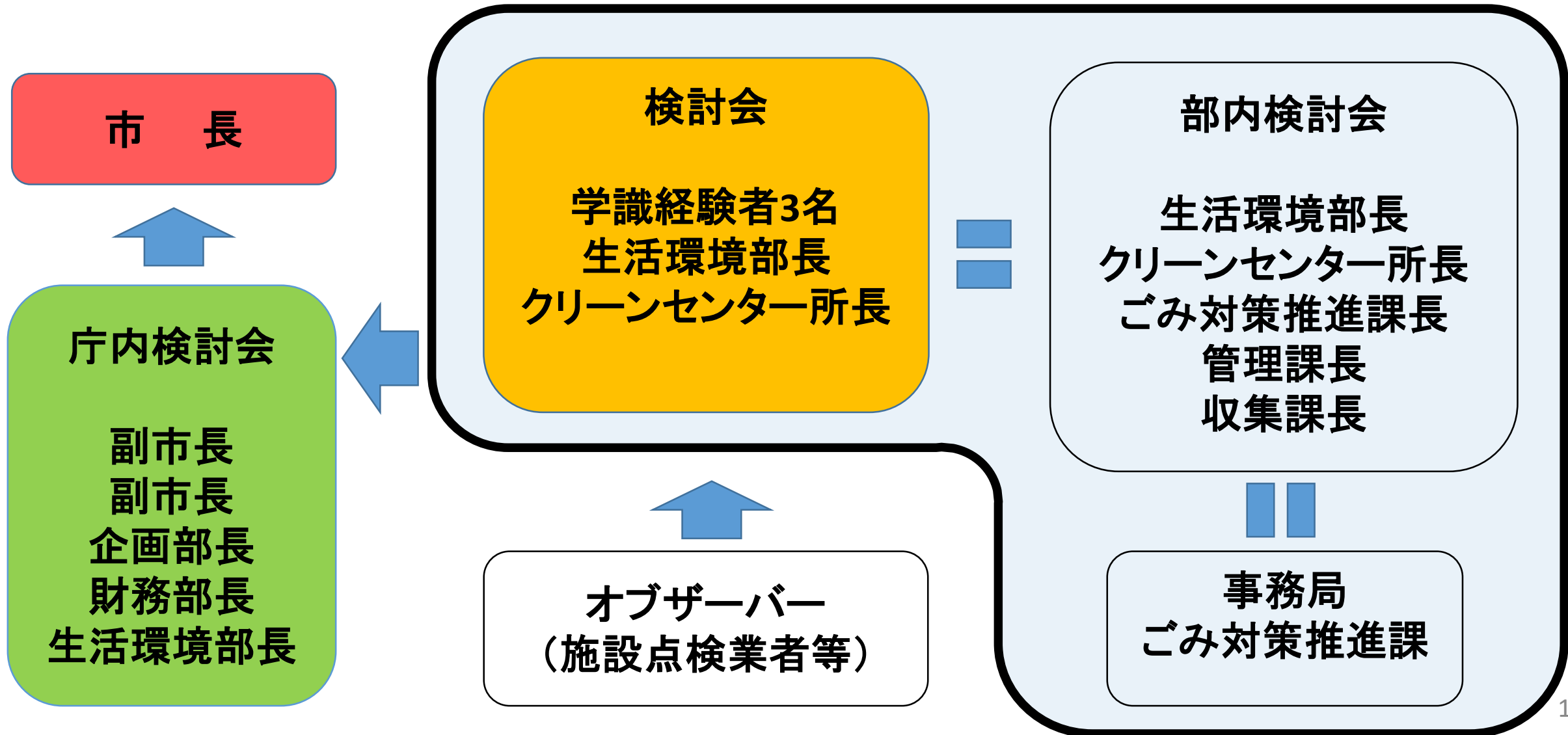
数年先の建設コストを正確に予想し、順延した事業を再スタートさせる事は、大変難しいと考えております。

全国の事例と動向、当市の実情等を踏まえ、**専門的見地**から学識経験者を含む委員5名により、**適切なスケジュールと事業方式を検討する。**

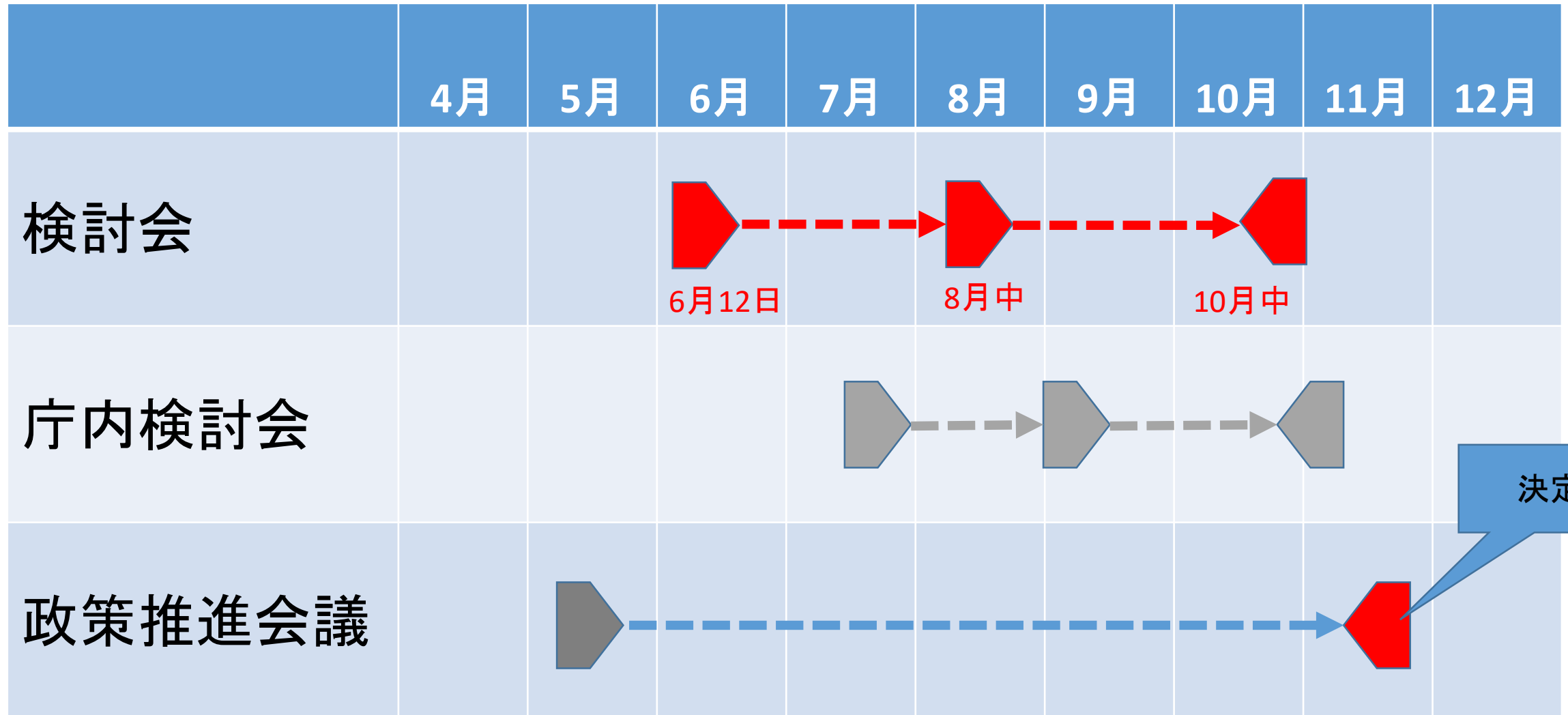
検討会の内容

- ① 適切な整備スケジュールの検討
- ② 適切な事業方式の検討

スケジュール等の決定の体制図



スケジュール等決定までのスケジュール



沼津市新中間処理施設整備スケジュール等検討会について

第1回会議

現施設の見学、事業の概要説明、基本計画の説明

他自治体の焼却施設の建設動向と市場コストの説明

現施設の耐震性と老朽化に関する説明



整備スケジュールの検討

第2回会議

第1回会議や庁内検討会からの課題の説明

事業方式に関する説明



整備スケジュールの検討
事業方式の検討

第3回会議

第2回会議や庁内検討会からの課題の説明



整備スケジュールの検討
事業方式の検討
とりまとめ